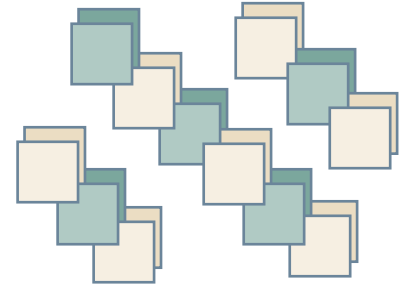


劇場・音楽堂等の大規模改修及び個別施設管理計画の策定状況に 関するアンケート 報告書

公益社団法人全国公立文化施設協会



地方公共団体は、2020 年度中に劇場・音楽堂等の文化施設のインフラ長寿命化基本計画（個別施設計画）を策定することとされていますが、2019 年度当初においてまだ全体の 13%程度しか策定されていないのが現状です。

そこで、現状を把握し、未策定の理由を明らかにするとともに、今後の策定を啓発・促進するために、今般平成 31 年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」の一環として、全国の国公立の劇場・音楽堂等を対象にアンケート調査を実施し、取りまとめいたしました。

アンケート調査には大変多くの文化施設及び地方公共団体の皆様のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本報告書が今後の劇場・音楽堂等の改修整備計画策定の一助となれば、幸いです。

■ 事業目的

- ・個別施設計画策定の取組促進を通じて、文化施設のメンテナンスサイクルを適切に実施する。
- ・設置者の行う計画策定作業に劇場・音楽堂等の運営者として実態を正しく伝えるよう支援し、計画づくりを間接的に推進する。

■ 調査の概要

調査対象：全国の国公立文化施設 2,193 施設

調査方法：全国公立文化施設協会の支部を通じメールで依頼、メール（FAX）での回収

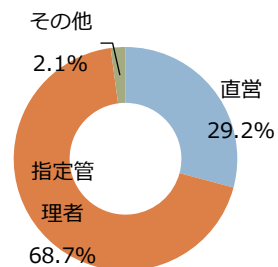
調査期間：2019 年 7 月 3 日から 8 月 23 日

回答通数：518 通（回収率 23.6%）

I. 回答者の基本情報

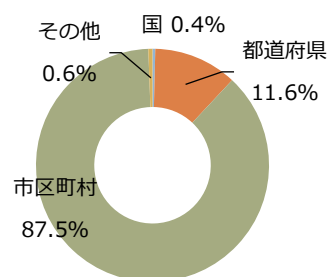
(1) 運営形態 (n=518)

	回答数	%	無回答除く%
直営	151	29.2%	29.2%
指定管理者	356	68.7%	68.7%
その他	11	2.1%	2.1%
無回答	0	0.0%	-
計	518	100.0%	100.0%



(2) 設置者 (n=518)

	回答数	%	無回答除く%
国	2	0.4%	0.4%
都道府県	60	11.6%	11.6%
市区町村	453	87.5%	87.5%
その他	3	0.6%	0.6%
計	518	100.0%	100.0%

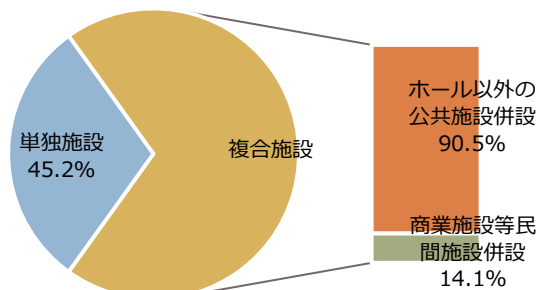


(3) 施設形態 (n=518)

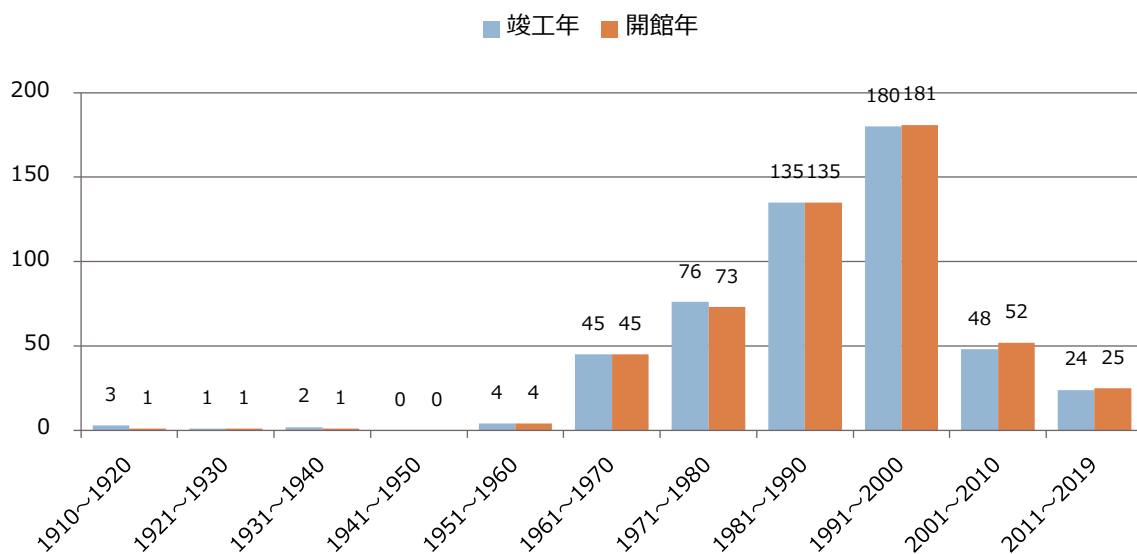
	回答数	%	無回答除く%
単独施設	234	45.2%	45.2%
複合施設	284	54.8%	54.8%
無回答	0	0.0%	-
計	518	100.0%	100.0%

(n=284・複数回答)

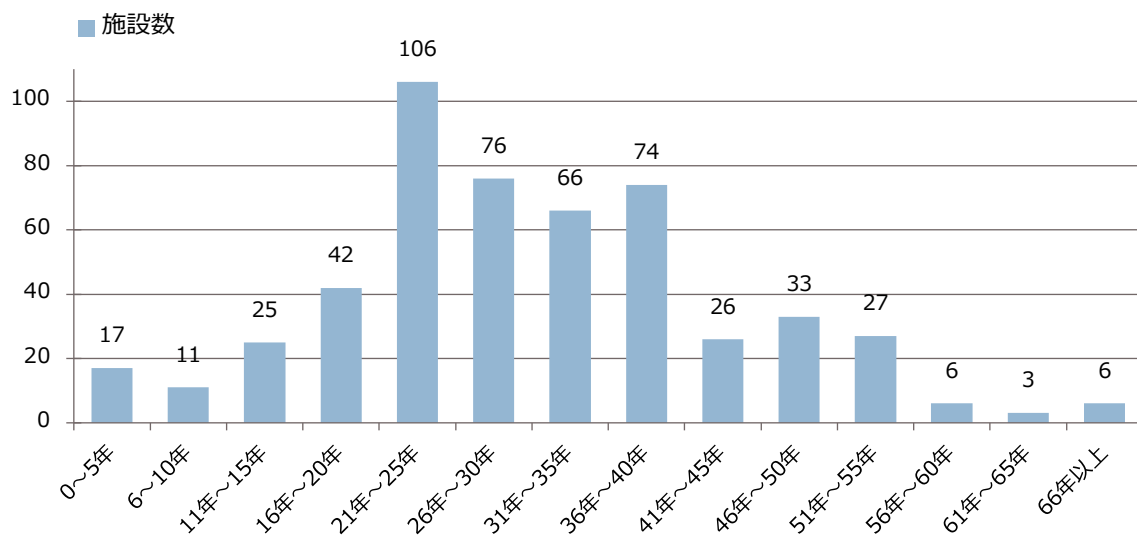
	回答数	%
ホール以外の公共施設併設	257	90.5%
商業施設等民間施設併設	40	14.1%



(4) 開館年・竣工年別 施設数 (n=518)



(5) 開館からの経過年数 (n=518)



II. 改修履歴（半年以上の休館を伴う大規模工事について）

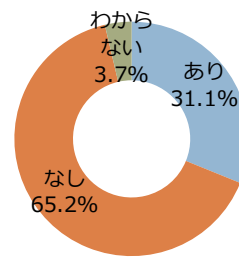
大規模改修（半年以上の休館を伴う）の実施は31.1%（無回答除く）であった。工事内容としては、舞台機構・照明・音響（53.4%）、空調設備（49.1%）、電気設備（46.0%）が多く、工事期間としては、6ヶ月から1年以内が全体の約7割（67.2%）であった。

財源は自主財源（基金含む）が64.6%、ついで補助金（国）31.7%、補助金（都道府県）12.4%であった。

Q2-1 改修履歴（半年以上の休館を伴う大規模改修工事について回答してください）

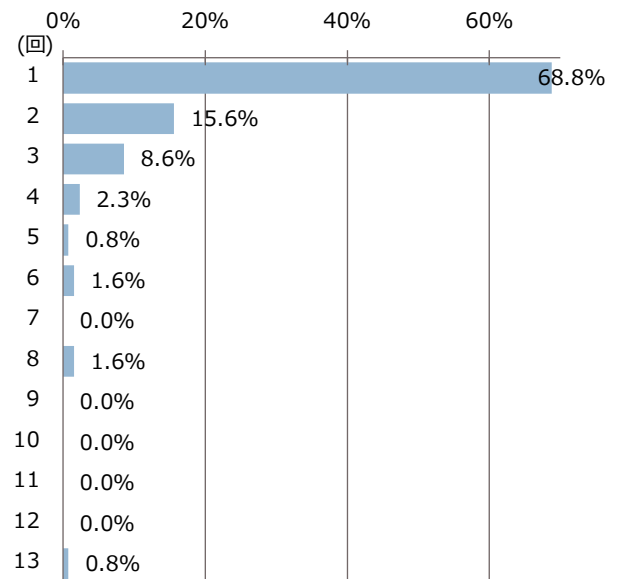
大規模改修の有無（n=518）

	回答数	%	無回答除く%
あり	161	31.1%	31.1%
なし	337	65.1%	65.2%
わからない	19	3.7%	3.7%
無回答	1	0.2%	
計	518	100.0%	100.0%



実施回数（n=161）

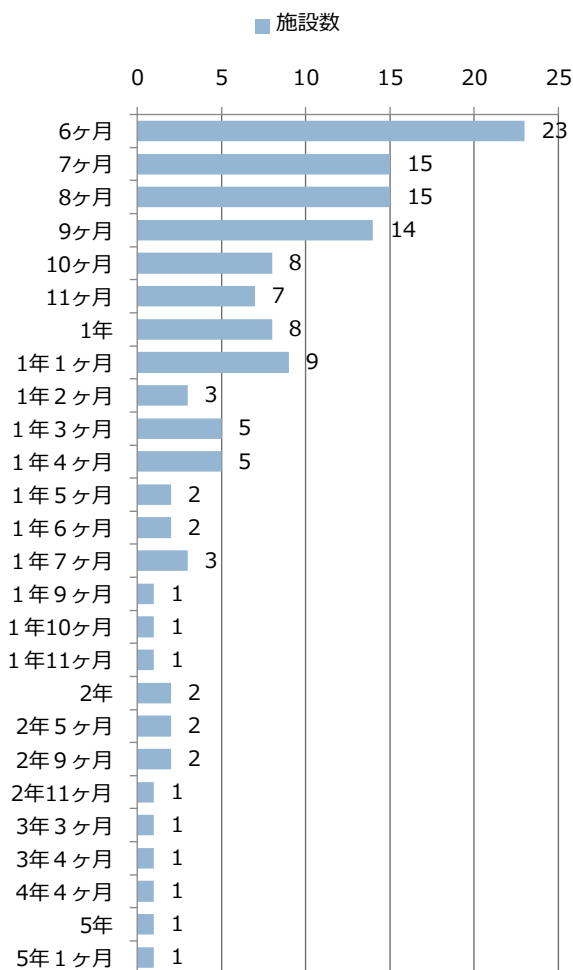
回数	回答数	%	無回答除く%
1	88	54.7%	68.8%
2	20	12.4%	15.6%
3	11	6.8%	8.6%
4	3	1.9%	2.3%
5	1	0.6%	0.8%
6	2	1.2%	1.6%
7	0	0.0%	0.0%
8	2	1.2%	1.6%
9	0	0.0%	0.0%
10	0	0.0%	0.0%
11	0	0.0%	0.0%
12	0	0.0%	0.0%
13	1	0.6%	0.8%
無回答	33	20.5%	
計	161	100.0%	100.0%



Q2-2 改修工事の概要（「最新の改修工事」について以下ご記入ください）

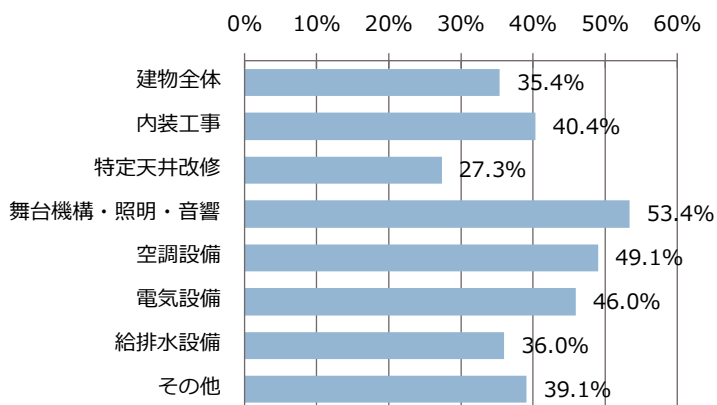
① 改修期間（n=161）

		回答数	%	無回答除く%
0年	6ヶ月	23	14.3%	17.2%
	7ヶ月	15	9.3%	11.2%
	8ヶ月	15	9.3%	11.2%
	9ヶ月	14	8.7%	10.4%
	10ヶ月	8	5.0%	6.0%
	11ヶ月	7	4.3%	5.2%
1年	0ヶ月	8	5.0%	6.0%
	1ヶ月	9	5.6%	6.7%
	2ヶ月	3	1.9%	2.2%
	3ヶ月	5	3.1%	3.7%
	4ヶ月	5	3.1%	3.7%
	5ヶ月	2	1.2%	1.5%
	6ヶ月	2	1.2%	1.5%
	7ヶ月	3	1.9%	2.2%
	9ヶ月	1	0.6%	0.7%
	10ヶ月	1	0.6%	0.7%
	11ヶ月	1	0.6%	0.7%
	2年	0ヶ月	2	1.2%
5ヶ月		2	1.2%	1.5%
9ヶ月		2	1.2%	1.5%
11ヶ月		1	0.6%	0.7%
3年	3ヶ月	1	0.6%	0.7%
	4ヶ月	1	0.6%	0.7%
4年	4ヶ月	1	0.6%	0.7%
5年	0ヶ月	1	0.6%	0.7%
	1ヶ月	1	0.6%	0.7%
無回答		27	16.8%	
計		161	100.0%	100.0%



② 改修工事の内容（n=161・複数回答）

	回答数	%
建物全体	57	35.4%
内装工事	65	40.4%
特定天井改修	44	27.3%
舞台機構・照明・音響	86	53.4%
空調設備	79	49.1%
電気設備	74	46.0%
給排水設備	58	36.0%
その他 ※1	63	39.1%
計	526	

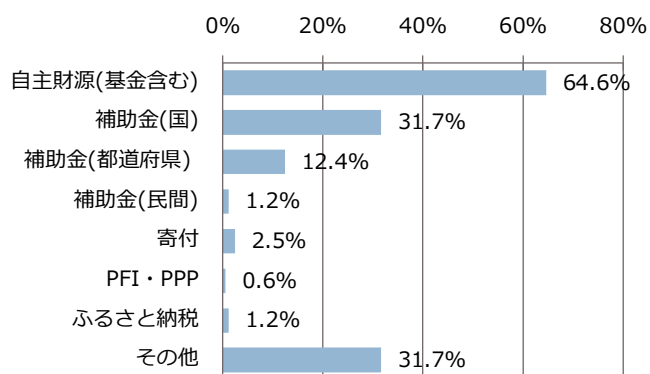


※1 自由記述（一部抜粋）

外壁工事、エレベーター増設、客席更新・取替・張替、耐震補強、外壁改修、楽屋工事、等

③ 主な財源 (n=161・複数回答)

	回答数	%
自主財源(基金含む)	104	64.6%
補助金(国)	51	31.7%
補助金(都道府県)	20	12.4%
補助金(民間)	2	1.2%
寄付	4	2.5%
PFI・PPP	1	0.6%
ふるさと納税	2	1.2%
その他 ※2	51	31.7%
計	235	



※2 自由記述 (一部抜粋)

設置者予算、自治体予算、設置者からの委託料、起債(市債、地方債)等

Ⅲ. 今後の改修予定

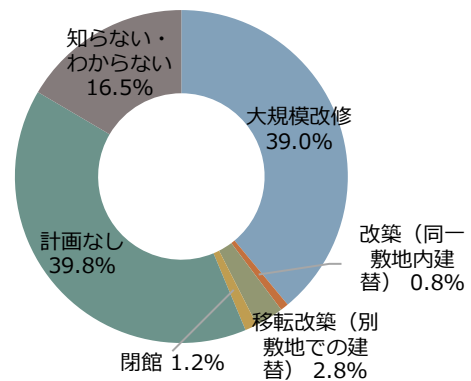
今後の改修予定については、「計画なし」(39.8%・無回答除く)、「大規模改修」(39.0%・無回答除く)が多かった。今後必要となる大規模改修については、どの項目も総じて高く、工事が必要となる時期は2019年から2022年頃が多かった。

しかし、工事の予定については「検討中であるが、まだ計画化されていない」(45.9%・無回答除く)が高く、その理由として「財源の目途がたたない」(59.5%)が約6割を占めた。

Q3 今後の改修予定についてご記入ください

Q3-1 今後の施設取扱い方針 (n=518)

	回答数	%	無回答除く%
大規模改修	198	38.2%	39.0%
改築(同一敷地内建替)	4	0.8%	0.8%
移転改築(別敷地での建替)	14	2.7%	2.8%
閉館	6	1.2%	1.2%
計画なし	202	39.0%	39.8%
知らない・わからない	84	16.2%	16.5%
無回答	10	1.9%	
計	518	100.0%	100.0%

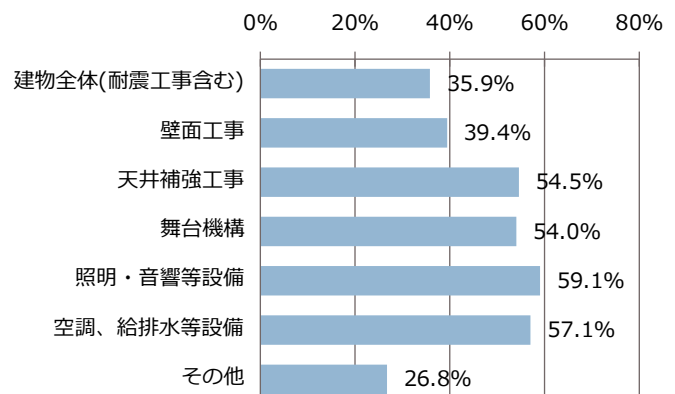


Q3-2 大規模改修の場合、今後必要となる主な改修内容は何ですか。時期は何年頃ですか。(n=198・複数回答)

	回答数	%	2019年頃	2020年頃	2021年頃	2022年頃	2023年頃	2024年頃	2025年頃	2026以降
建物全体(耐震工事含む)	71	35.9%	6	8	9	5	6	3	2	6
壁面工事	78	39.4%	3	18	9	11	2	2	0	3
天井補強工事	108	54.5%	4	18	20	14	5	6	1	5
舞台機構	107	54.0%	10	20	16	17	2	5	2	3
照明・音響等設備	117	59.1%	5	23	18	17	2	4	2	5
空調、給排水等設備	113	57.1%	9	28	12	11	4	4	1	7
その他	53	26.8%								

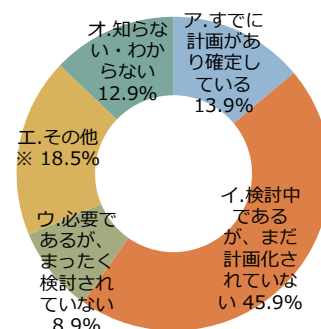
※3 自由記述(一部抜粋)

屋根・屋上防水、電気設備、
消防設備、エレベーター更新、
客性、内装、トイレ、等



Q3-3 次期の改修工事は予定されていますか。(n=518)

	回答数	%	無回答除く%
ア.すでに計画があり確定している	67	12.9%	13.9%
イ.検討中であるが、まだ計画化されていない	221	42.7%	45.9%
ウ.必要であるが、まったく検討されていない	43	8.3%	8.9%
エ.その他 ※	89	17.2%	18.5%
オ.知らない・わからない	62	12.0%	12.9%
無回答	36	6.9%	
計	518	100.0%	100.0%



※4 自由記述 (一部抜粋)

- ・計画はあるが、財源が確保できないため未定。
- ・大規模改修ではなく、開館をしながら、又は1ヶ月程度の閉館で小規模修繕で対応。
- ・年次計画を策定し、優先度の高いものから、部分的、段階的に改修を行っている。
- ・計画進行中(設計業務委託中、補助金申請中) 等

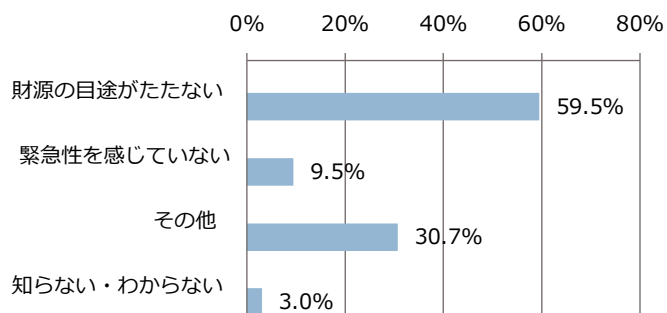
Q3-4 Q3-3で「ア.すでに計画があり確定している」とお答えになった施設にお聞きします。計画されている工事の総経費は概算でどのくらいですか。(n=50)

7百万円～ 47,519百万円

Q3-5 Q3-3で「イ.検討中であるが、まだ計画化されていない」「ウ.必要であるが、まったく検討されていない」のいずれかにお答えになった施設にお聞きします。計画化ないしは検討されていない理由、及び改修時期が遅れる場合どのような対応が考えられますか。(n=264・複数回答)

[理由]

	回答数	%
財源の目途がたたない	157	59.5%
改修の必要性についての緊急性を感じていない	25	9.5%
その他 ※5	81	30.7%
知らない・わからない	8	3.0%
計	271	



※5 自由記述 (一部抜粋)

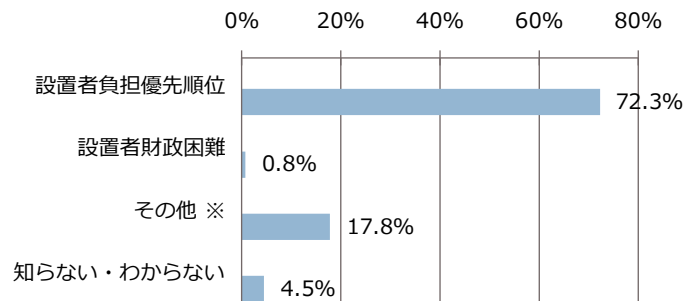
- ・修繕の必要性に対して理解が得られにくい
- ・建物・設備の調査を実施していない。
- ・改修内容について精査ができていない。
- ・類似施設との調整が必要 等

[対応策]

	回答数	%
設置者負担優先順位	191	72.3%
設置者財政困難	2	0.8%
その他 ※6	47	17.8%
知らない・わからない	12	4.5%
計	252	

※6 自由記述（一部抜粋）

- ・改修計画を立てて、予算（財源）を確保する。
- ・自治体（設置者）への提案、相談、協議。
- ・議会への提案や市民の要望。
- ・緊急対応のみ。
- ・部分的な修繕で対応。

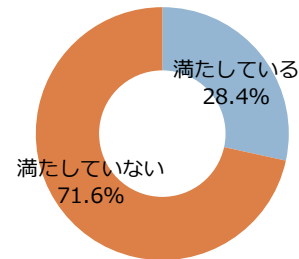


IV. バリアフリー法（建築物移動等円滑化誘導基準）の対応状況

建築物移動等円滑化誘導基準については、施設の28.4%（無回答除く）が満たしている。満たしていない施設（71.6%・無回答除く）のうち、改修計画の有無については「今後の改修計画が有り」5.7%（無回答除く）20施設のうち、2019年（2施設）、2020年（5施設）、2021年（2施設）等に改修予定との回答であった。

Q4-1 貴施設は建築物移動等円滑化誘導基準を満たしていますか。（n=518）

	回答数	%	無回答除く%
満たしている	141	27.2%	28.4%
満たしていない	355	68.5%	71.6%
無回答	22	4.2%	
計	518	100.0%	100.0%



Q4-2 「満たしていない」施設は建築物移動等円滑化誘導基準を満たすよう改修を行う計画がありますか。

(n=355)

	回答数	%	無回答除く%
計画あり	20	5.6%	5.7%
計画なし	253	71.3%	71.7%
知らない・わからない	80	22.5%	22.7%
無回答	2	0.6%	
計	355	100.0%	100.0%



2019年	2020年	2021年	2023年	2033年
2	5	2	2	1
				無回答
				計
				8
				20

V. 個別施設計画策定状況

2020年度までに国から策定を求められている個別施設計画の策定状況は、「策定完了済」（19.6%・無回答除く）、「策定中」（11.3%・無回答除く）、「策定検討」（20.2%・無回答除く）を合わせると51.1%となり、およそ半分の施設で計画化がなされている。

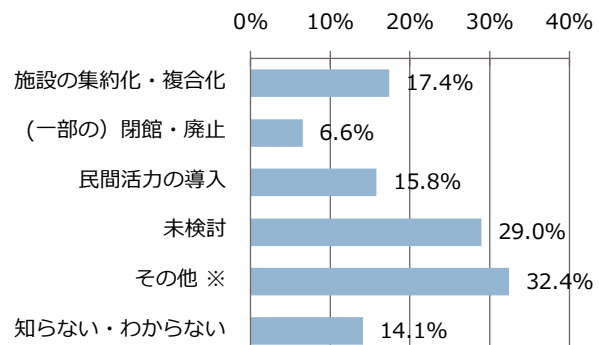
しかしながら、「策定完了済」又は「策定中」でありながら依然「方向性は未検討」の施設もあり、自由記述の内容からも計画の実効性を含め今後とも検討が必要であることがうかがえる。

なお、計画策定に着手できていない理由として「財源の目途がたらず、計画できない」（46.4%）が多かった。

Q5-1 施設管理の方向性

貴施設が属する設置自治体は、公共施設等の管理による老朽化対策等の推進に関する総合的な計画（公共施設等総合管理計画）において、貴施設についてはどのような方向性を検討していますか。あてはまるものをお選びください。（n=518・複数回答）

	回答数	%
施設の集約化・複合化の方向で検討	90	17.4%
（一部の）施設の閉館・廃止の方向で検討	34	6.6%
民間活力の導入（指定管理者制度への移行や大規模改修でのPFI事業の導入など）を推進する方向で検討	82	15.8%
方向性は未検討	150	29.0%
その他 ※	168	32.4%
知らない・わからない	73	14.1%
計	597	

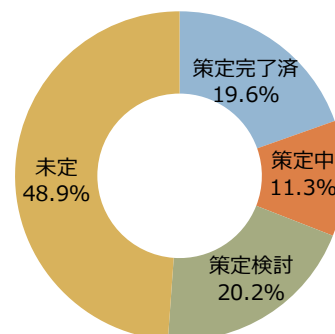


※7 自由記述（一部附友粋）

- ・現状維持、機能維持
- ・長寿命化（計画的な保全による長寿命化、大規模修繕による長寿命化）
- ・近隣自治体と広域化の検討 等

Q5-2 貴施設にかかる個別施設計画を策定していますか。策定の状況について、あてはまるものを1つお選びください。（n=518）

	回答数	%	無回答除く%
個別施設計画の策定完了済	95	18.3%	19.6%
個別施設計画の策定中	55	10.6%	11.3%
個別施設計画の策定検討	98	18.9%	20.2%
個別施設計画は未策定、策定期未定	237	45.8%	48.9%
無回答	33	6.4%	
計	518	100.0%	100.0%



Q5-3 「個別施設計画の策定完了済」「策定中」と回答された方は、貴施設に関する計画の概要や方針などを以下にご記入ください。

[方針] (自由記述)

■ 施設の方向性	
・長寿命化	・維持
	・大規模改修
	・小規模修繕
	・改修
	・修繕
	・更新
	・補修
・統廃合	
・複合化	
・建替え	

■ 保全・管理方法	
・維持方法	・現状維持
	・機能維持
	・適切な維持管理
・保全方法	・予防保全
	・事後保全
	・安全性の確保
・保全計画	・短期計画
	・中長期計画
	・長期計画

■ その他の施設等との連携	
・広域的役割分担	・機能の一元化
・広域連携	・集約化等の検討
	・新規施設開設後閉館
	・新施設整備計画

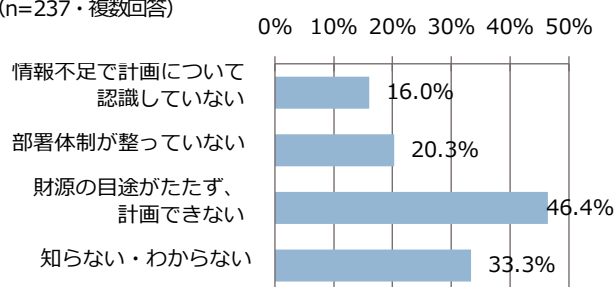
■ 財政負担	
・維持補修費コスト削減	
・管理運営コストの縮減	
・財政負担（費用）の軽減	
・財政負担（費用）の平準化	
・ライフコストの削減	
・ライフサイクルコストの低減	
・民間施設への移転	

[計画概要] (自由記述 一部抜粋)

- ・定期点検の結果をもとに、利用者の安全を考慮し、緊急性、危険性、重要性、稼働率などを総合的に勘案し、順次、改修・整備を進める。
- ・長寿命化、ユニバーサルデザイン化及び耐震化の推進並びに市指定避難所としての防災機能維持・強化の4項目を重点課題とし、修繕、設備更新及び改修工事等を計画的に実施。
- ・長期修繕計画を策定し、他の公共施設の計画との調整を行うとともに、資金等の平準化を兼ねた実施計画で保全を実施する。
- ・中期修繕計画（10年計画）の中で舞台機構、音響設備、天井補強工事、壁面工事等の順序で適切に施設のメンテナンスを行う。
- ・耐用年数80年で、30年（2023年）で大規模改修。
- ・施設利用の利便性や周辺施設との連携強化などにより、市民への公共サービスの向上を図る。複合化によって生じる余剰施設については、「施設の転用」または「資産の活用」を検討する。
- ・再編、保全・更新等、マネジメント等の検証を行ったうえで、フォローアップを実施。
- ・効果的かつ計画的な保全措置を講じ、建物の機能や設備を常に良好な状態に保ちながら、使用目標年数までの使用を目指す。
- ・外壁、防火水槽、非常用自家発電設備、エレベーター、空調設備、舞台機構、舞台音響・照明・映像装置等について令和元年度から3ヶ年で長寿命化に係る改修工事を行う。

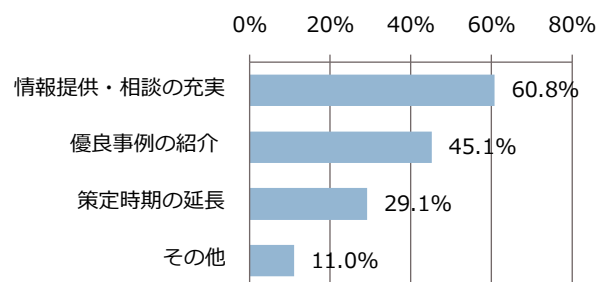
Q5-4 個別施設計画が策定されていない理由は何ですか。(n=237・複数回答)

	回答数	%
情報不足で計画について認識していない	38	16.0%
部署体制が整っていない	48	20.3%
財源の用途がたたず、計画できない	110	46.4%
知らない・わからない	79	33.3%
計	275	



Q5-5 今後策定を進める上で、どのようなサポートが必要ですか。(n=237・複数回答)

	回答数	%
情報提供・相談の充実	144	60.8%
優良事例の紹介	107	45.1%
策定期間の延長	69	29.1%
その他	26	11.0%
計	346	



※8 自由記述 (一部抜粋)

- ・財政面での支援、財源のサポート
- ・施設別ではなく、統一ガイドラインの提供
- ・策定されないことのデメリットの紹介
- ・改修、長寿命化にかかる財政支援

VI. 改修工事等に伴う要望

設置者や国等に対する要望については、施設の老朽化、及び老朽化に伴う修繕計画や改修のための財源確保、財政援助等の要望が多かった。

Q6 設置者及び国等への要望等ありましたら、ご記入ください。

(自由記述 一部抜粋)

- ・今後の館の適正かつ安全を確保した運営を継続するために、早期の大規模改修又は短期間での計画的更新、修繕対応が必要。地震をはじめとする様々な災害に備えるためにも国からの財政援助が不可欠。
- ・既存施設の老朽化に伴う大規模改修等に係る費用の国庫補助。補助金の創設を検討してほしい。
- ・雨漏り、空調設備不具合など毎年の修繕費がかかる。利用者の不便や不満に職員のソフトパワーで対応している。議会や市全体の公共施設のグランドデザインを統括する部局が必要。
- ・老朽化に伴い様々な設備機器に故障や不具合が発生している。指定管理者として日常点検や修繕は実施しているが、興行の中止など利用者に影響が出ないように設置者とメンテナンス情報を共有。
- ・施設の集約化が課題となるが、中心部に集約されてしまい、周辺部の文化的環境の低下が進んでしまう状況になり、運営方針などの指針が必要。
- ・山あいの町では文化芸術に触れる機会が極端に少なく、地域の劇場が持つ役割は大変重要。施設の存続のため、手厚い助成をいただければ幸い。

VII. 最後に (まとめ)

アンケート結果によると、今後の劇場・音楽堂等の運営の方向性として「長寿命化」を挙げている施設が多かった。長寿命化にあたり「予防保全」の考えを元に「計画改修」を主たる方針とする施設、「事後保全」「最低限度の維持のための改修」を主たる方針とする施設という2つの傾向がみられた。いずれの施設においても、根底には維持管理に係る経費確保が厳しい、という現状がある。個別施設計画を策定するための予算すら確保が難しい状況では、計画的な維持管理・施設運営はままならないであろう。

また、指定管理制度の導入により「設置者・運営者間」の情報共有があまりなされていないという状況も垣間見られた。利用者の安全の確保はもとより、劇場・音楽堂等がその機能をフルに発揮し、劇場法で謳われる社会に貢献してゆくために、設置者と運営者が常に相互の情報、課題解決へのプロセスを共有することが重要である。

既に始まっている少子高齢化、人口減少社会において、自治体だけでは膨大な改修費用を賄うことは厳しく、投資的経費の財源確保等として国の補助制度等の施策が望まれる。

資 料

劇場・音楽堂等の大規模改修及び個別施設管理計画の策定状況に関するアンケート調査票

劇場・音楽堂等の大規模改修及び個別施設管理計画の策定状況に関する アンケート 調査票

今回の調査は施設運営者側でご回答いただきますが、運営者側で分からない質問項目については設置者側に依頼するか、問合せでご回答ください。調査時点は2019年7月1日現在とし、年は西暦でお答えください。

1 回答者の施設基本情報についてご記入ください

- 1-1 施設名（正式名称）
- 1-2 連絡先（氏名） （電話番号）
- 1-3 地方自治体名
- 1-4 施設の運営形態 直営 指定管理者 その他
- 1-5 開館年月 年 月
竣工年月 開館年月と同一 開館年月と異なる 年 月
- 1-6 施設形態 単独施設 複合施設 1（ホール以外の公共施設併設）
 複合施設 2（商業施設等民間施設併設）

2 改修履歴（半年以上の休館を伴う大規模改修工事について回答してください）

- 2-1 大規模改修の有無
 あり（これまで 回） なし わからない
（「なし」「わからない」と回答された方 → 3 今後の改修予定について以下ご記入ください。）
- 2-2 改修工事の概要（「最新の改修工事」について以下ご記入ください。）
- ・改修工事期間 年 月 ～ 年 月
- ・改修工事内訳（複数選択可）
 建物全体 内装工事 特定天井改修 舞台機構・照明・音響設備
 空調設備 電気設備 給排水設備
 その他（ ）
- ・経費総額 百万円
- ・主な財源（複数選択可）
 自主財源(基金含む) 補助金(国) 補助金(都道府県) 補助金(民間)
 寄付 PFI・PPP ふるさと納税
 その他（ ）

3 今後の改修予定についてご記入ください

- 3-1 今後の施設取扱い方針
 大規模改修 改築（同一敷地内建替） 移転改築（別敷地での建替）
 閉館 計画なし 知らない・わからない
- 3-2 大規模改修の場合、今後必要となる主な改修内容は何ですか。（複数選択可）
 建物全体（耐震工事含む）（時期 年頃）

- 壁面工事 (時期 年頃)
- 天井補強工事 (時期 年頃)
- 舞台装置 (時期 年頃)
- 照明・音響等設備 (時期 年頃)
- 空調、給排水等設備 (時期 年頃)
- その他 (時期 年頃)

3-3 次期の改修工事は予定されていますか。

- ア.すでに計画があり確定している
- イ.検討中であるが、まだ計画化されていない
- ウ.必要であるが、まったく検討されていない
- エ.その他 ()
- オ.知らない・わからない

3-4 3-3で「ア.すでに計画があり確定している」とお答えになった施設にお聞きます。計画されている工事の総経費は概算でどのくらいですか。

総経費 百万円

3-5 3-3で「イ.検討中であるが、まだ計画化されていない」「ウ.必要であるが、まったく検討されていない」のいずれかにお答えになった施設にお聞きます。計画化ないしは検討されていない理由、及び改修時期が遅れる場合どのような対応が考えられますか。

[理由]

- 財源の目途がたたない
- 改修の必要性についての緊急性を感じていない
- その他 ()
- 知らない・わからない

[対応策]

- 設置者側の負担で、優先順位をつけて毎年の修繕・工事費で対応していくしかない
- 設置者側での財源確保が困難なことから、施設の廃止が検討されている
- その他 ()
- 知らない・わからない

4 バリアフリー（建築物移動等円滑化誘導基準）の対応状況について

4-1 貴施設は建築物移動等円滑化誘導基準を充たしていますか。

※「建築物移動等円滑化誘導基準」は下記 国土交通省ホームページをご参照ください。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/index.html>

- 充たしている
- 充たしていない

4-2 「充たしていない」施設は建築物移動等円滑化誘導基準を充たすよう改修を行う計画がありますか。

- 計画あり →時期が決まっている場合 (時期 年頃予定)
- 計画なし
- 知らない・わからない

5 公共施設等総合管理計画、個別施設計画についてご記入ください

5-1 施設管理の方向性

貴施設が属する設置自治体は、公共施設等の管理による老朽化対策等の推進に関する総合的な計画（公共施設等総合管理計画）において、貴施設についてはどのような方向性を検討していますか。あてはまるものをお選びください。（複数選択可）

- 施設の集約化・複合化の方向で検討
- （一部の）施設の閉館・廃止の方向で検討
- 民間活力の導入（指定管理者制度への移行や大規模改修でのPFI事業の導入など）を推進する方向で検討
- 方向性は未検討
- その他（）
- 知らない・わからない

5-2 個別施設計画策定について

貴施設にかかる個別施設計画を策定していますか。策定の状況について、あてはまるものを1つお選びください。

- 個別施設計画の策定完了済（→ 5-3にお答えください）
- 個別施設計画の策定中 提出予定 年 月頃（→ 5-3にお答えください）
- 個別施設計画の策定検討 策定予定 年 月頃
- 個別施設計画は未策定、策定期未定（→ 5-4、5-5にお答えください）

5-3 「個別施設計画の策定済」「策定中」と回答された方は、貴施設に関する計画の概要や方針などを以下にご記入ください。※記入が難しい場合、参考となるホームページアドレス等をご記入いただくか、資料を添付していただく等でもかまいません。

方針

計画
概要

5-4 個別施設計画が策定されていない理由は何ですか。（複数選択可）

- 情報不足で計画について認識していない
- 部署体制が整っていない
- 財源の目途がたたず、計画できない
- 知らない・わからない

5-5 今後策定を進める上で、どのようなサポートが必要ですか。（複数選択可）

- 情報提供・相談の充実
- 優良事例の紹介
- 策定期の延長
- その他（）

6 設置者及び国等への要望等ありましたら、ご記入ください